

1 連結業績の概要

- 1) 連結業績概要 …P. 3
- 2) 売上高の変動要因 …P. 4
- 3) 営業利益の変動要因 …P. 5

2 連結業績の詳細

- 1) セグメント別売上高・営業利益 …P. 7
- 2) 四半期毎のセグメント別売上高 …P. 14
- 3) セグメント別売上高・営業利益(計画比) …P. 15
- 4) 設備投資他 …P. 16
- 5) 損益計算書・包括利益計算書 …P. 17



3 2013年度 セグメント別事業計画

- 1) 海外市場 …P. 19
- 2) 金融市場 …P. 20
- 3) 流通・交通市場 …P. 21
- 4) 遊技市場 …P. 22
- 5) その他 …P. 23

4 2014年3月期 業績予想

- 1) 2014年3月期 業績予想 …P. 25
- 2) セグメント別売上高・営業利益 …P. 26
- 3) 半期毎のセグメント別売上高・営業利益 …P. 27

5 その他の情報

- 1) 配当予想について …P. 29

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しが変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

1

連結業績の概要

連結業績概要 前期比

GLORY

売上高

M & Aによる海外市場の拡大、並びに国内市場の販売が堅調に推移した結果
前期に比べ増加。

利益

M & Aをはじめとする売上高の増加に加え、海外生産・海外調達等のコストダウン
施策を推進した結果、前期に比べ増加。

(百万円)	2012年3月期 (平成24年3月期)	2013年3月期 (平成25年3月期)	前期比
売上高	146,937	190,938	+29.9%
うち 保守売上高	33,944 (23.1%)	50,766 (26.6%)	+49.6%
営業利益	11,274 (7.7%)	14,458 (7.6%)	+28.2%
経常利益	11,908 (8.1%)	13,695 (7.2%)	+15.0%
当期純利益	6,246 (4.3%)	6,873 (3.6%)	+10.0%

※為替レート [ドル]80円 [ユーロ]100円

3

3

2013年3月期「連結業績」について

当期は前期と比べ増収増益。

〔売上高〕

前期比プラス29.9%の1,909億3,800万円。

タラリス社*の業績への寄与をはじめ、全てのセグメントで堅調に販売が推移。

〔利益〕

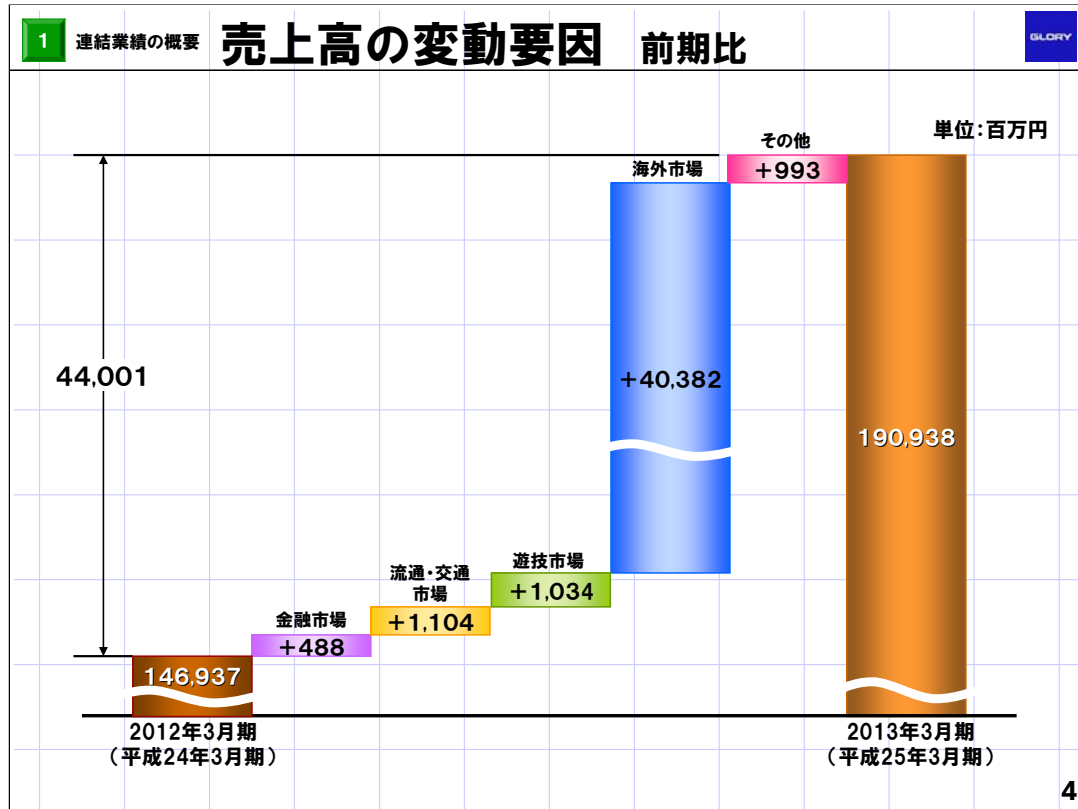
営業利益は、前期比プラス28.2%の144億5,800万円。

タラリス社の業績への寄与をはじめとする売上高の増加に加え、
海外生産調達等のコストダウン施策の効果が増益要因。

経常利益は、前期比プラス15.0%の136億9,500万円。

当期純利益は、前期比プラス10.0%の68億7,300万円。

*Talaris Topco Limited(現「Glory Global Solutions (Topco) Ltd.」)



前期と当期の「セグメント別売上高の変動要因」について

前期比440億100万円の増収。

[売上高増加セグメント]

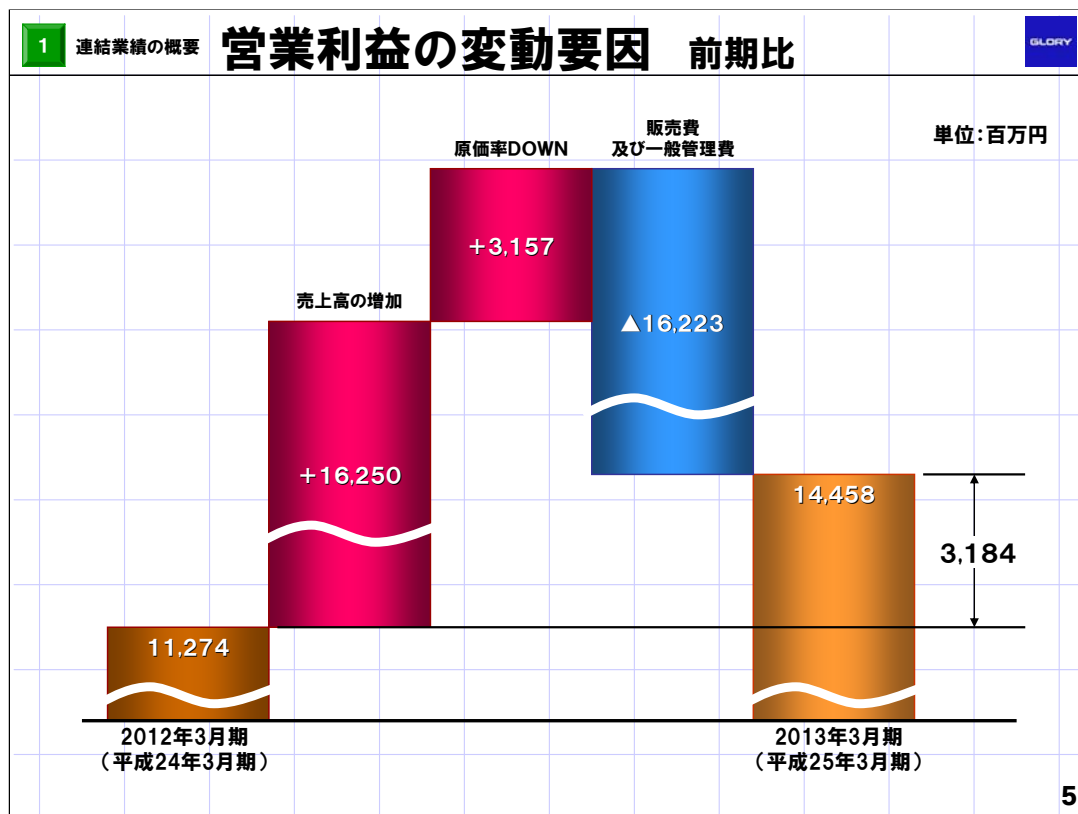
金融市場・・・前期比プラス4億8,800万円。

流通・交通市場・・・前期比プラス11億4百万円。

遊技市場・・・前期比プラス10億3,400万円。

海外市場・・・前期比プラス403億8,200万円。

その他・・・前期比プラス9億9,300万円。



前期と当期の「営業利益の変動要因」について

当期は前期比31億8,400万円の増益。

〔主な増益要因〕

売上高の増加による効果が162億5,000万円。

原価率ダウン(前期比マイナス1.7%)の影響が31億5,700万円。

〔減益要因〕

販管費増加による影響162億2,300万円。

セグメント別売上高・営業利益 前期比

(単位:百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2012年3月期	2013年3月期	前期比	2012年3月期	2013年3月期	前期比
金融市場	44,191	44,679	+488 (+1.1%)	3,954	4,416	+462 (+11.7%)
流通・交通 市場	28,566	29,670	+1,104 (+3.9%)	3,695	3,136	▲559 (▲15.1%)
遊技市場	24,811	25,845	+1,034 (+4.2%)	2,039	1,728	▲311 (▲15.3%)
海外市場	35,306	75,688	+40,382 (+114.4%)	1,837	5,085	+3,248 (+176.8%)
その他	14,062	15,055	+993 (+7.1%)	▲253	91	+344 (+)
合 計	146,937	190,938	+44,001 (+29.9%)	11,274	14,458	+3,184 (+28.2%)

「セグメント別の業績」について

[セグメント別売上高]

全てのセグメントで前期比プラス。

[セグメント別営業利益]

前期比プラスのセグメント・・・金融市場、海外市場、その他

前期比マイナスのセグメント・・・流通・交通市場、遊技市場

●主要製品の販売が堅調

オープン出納システムの販売は、従来タイプが低調であったものの、中小規模店舗向けのコンパクトタイプが堅調。窓口用紙幣・硬貨入出金機や多能式紙幣両替機の販売は、更新需要を捉え順調。市場全体としては前期並みの販売。

セグメントの概要

国内の金融機関、日本郵政、OEM先等への販売・保守

主要製品



オープン出納システム
WAVEシリーズ



窓口用紙幣・硬貨
入出金機
RBシリーズ



ATM用硬貨入出金
ユニット
RCNシリーズ

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	前期比
売上高	44,191	44,679	+488 (+1.1%)
構成比率	30.1%	23.4%	▲6.7%
営業利益	3,954	4,416	+462 (+11.7%)
構成比率	35.1%	30.5%	▲4.6%
営業利益率	8.9%	9.9%	+1.0%

「金融市場」について

〔主要製品の販売動向〕

オープン出納システムの販売は前期比マイナス。

(コンパクトタイプは堅調、従来タイプは低調)

窓口用紙幣・硬貨入出金機、多能式紙幣両替機の販売は前期比プラス。

〔売上高〕

前期比プラス1.1%の44億7,900万円。

〔営業利益〕

前期比プラス11.7%の44億1,600万円。

●売上金入金機の販売が好調

警備輸送市場向け売上金入金機の販売は好調であったものの、主要製品であるレジつり銭機の販売は大口需要の減少により低調。
市場全体としては前期並みの販売。

セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社等への販売・保守

主要製品



レジつり銭機
RT/RADシリーズ



売上金入金機
DS-DSSシリーズ



現金入出金機
DSRシリーズ

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	前期比
売上高	28,566	29,670	+1,104 (+3.9%)
構成比率	19.4%	15.5%	▲3.9%
営業利益	3,695	3,136	▲559 (▲15.1%)
構成比率	32.8%	21.7%	▲11.1%
営業利益率	12.9%	10.6%	▲2.3%

「流通・交通市場」について

〔主要製品の販売動向〕

警備輸送市場向けの売上金入金機などの販売は前期比プラス。
レジつり銭機の販売は、大口商談の減少により前期比マイナス。

〔売上高〕

前期比プラス3.9%の296億7,000万円。

〔営業利益〕

前期比マイナス15.1%の31億3,600万円。

●カードシステムの販売が堅調

主要製品であるカードシステム等の販売は堅調であったものの、会員管理システムの販売は低調。市場全体としては前期並みの販売。

セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

主要製品

カードシステム



管理ターミナル

カードユニット

カード精算機

景品保管機
JKシリーズ

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	前期比
売上高	24,811	25,845	+1,034 (+4.2%)
構成比率	16.9%	13.5%	▲3.4%
営業利益	2,039	1,728	▲311 (▲15.3%)
構成比率	18.1%	12.0%	▲6.1%
営業利益率	8.2%	6.7%	▲1.5%

「遊技市場」について

〔主要製品の販売動向〕

カードシステムの販売は前期比プラス。
会員管理システム等の販売は前期比マイナス。

〔売上高〕

前期比プラス4.2%の258億4,500万円。

〔営業利益〕

前期比マイナス15.3%の17億2,800万円。

●主要製品の販売が好調

紙幣入金整理機や新製品である窓口用紙幣入出金機が好調に推移。また、タラリス社の買収効果により、販売は大幅に増加。

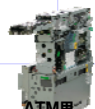
セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、カジノ、OEM先等への販売・保守

主要製品



紙幣整理機
UW-USFシリーズ



ATM用
紙幣入金ユニット
UDシリーズ



窓口用
紙幣入出金機
RBGシリーズ

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	前期比
売上高	35,306	75,688	+40,382 (+114.4%)
構成比率	24.0%	39.6%	+15.6%
営業利益	1,837	5,085	+3,248 (+176.8%)
構成比率	16.3%	35.2%	+18.9%
営業利益率	5.2%	6.7%	+1.5%

「海外市場」について

〔主要製品の販売動向〕

紙幣入金整理機や新製品の窓口用紙幣入出金機の販売は前期比プラス。
タラリス社の買収効果により、販売は大幅に増加。

〔売上高〕

前期比プラス114.4%の756億8,800万円。

〔営業利益〕

前期比プラス176.8%の50億8,500万円。

地域別売上高

(単位:百万円)				現地通貨ベース比較		
	2012年3月期	2013年3月期	前期比	2012年3月期	2013年3月期	前期比
米州	5,742	21,489	+15,747	69.9百万ドル (82.13円/ドル)	85.5百万ドル (94.01円/ドル)	+22.3%
GLORY	5,742	8,038	+2,296			
Talaris	0	13,451	+13,451	円ベース +40.0%		
欧州	10,271	27,046	+16,775	101.9百万ユーロ (100.71円/ユーロ)	104.1百万ユーロ (114.67円/ユーロ)	+2.2%
GLORY	10,271	11,943	+1,672	円ベース +16.3%		
Talaris	0	15,103	+15,103			
アジア	8,984	15,011	+6,027	109.3百万ドル (82.13円/ドル)	123.4百万ドル (94.01円/ドル)	+12.9%
GLORY	8,984	11,610	+2,626	円ベース +29.2%		
China	5,523	8,274	+2,751			
Talaris	0	3,401	+3,401			
OEM	10,309	12,141	+1,832	「直販」を現地通貨ベースで 換算した場合の比較 ※2012年3月期 米ドル(2012年3月末) ユーロ(2011年12月末) ※2013年3月期 米ドル(2013年3月末) ユーロ(2012年12月末)		
GLORY	10,309	9,796	▲513			
Talaris	0	2,346	+2,346			
合計	35,306	75,688	+40,382			
GLORY	35,306	41,387	+6,081			
Talaris	0	34,301	+34,301			

海外「地域別売上高」について

〔米州〕

グローリーの販売が堅調に推移したことに加え、タラリス社の業績が寄与。
前期比プラス274.2%の214億8,900万円。

〔欧州〕

グローリーの販売が堅調に推移しことに加え、タラリス社の業績が寄与。
前期比プラス163.3%の270億4,600万円。

〔アジア〕

グローリーの中国での販売拡大をはじめ、タラリス社の業績が寄与。
前期比プラス67.1%の150億1,100万円。

〔OEM〕

前期比プラス17.8%の121億4,100万円。

● 券売機の販売が好調

券売機の販売が順調に推移。
売上高増加に伴い利益率も向上。

セグメントの概要

国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、
企業等への販売・保守

主要製品



診療費支払機
FHPシリーズ



印刷式同時券売機
VTシリーズ



公営競技市場向け
当選金払出ユニット
RBKシリーズ

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	前期比
売上高	14,062	15,055	+993 (+7.1%)
構成比率	9.6%	7.9%	▲1.7%
営業利益	▲253	91	+344 (-)
構成比率	—	0.6%	—
営業利益率	—	0.6%	—

「その他」について

〔主要製品の販売動向〕

券売機等の販売がプラス。

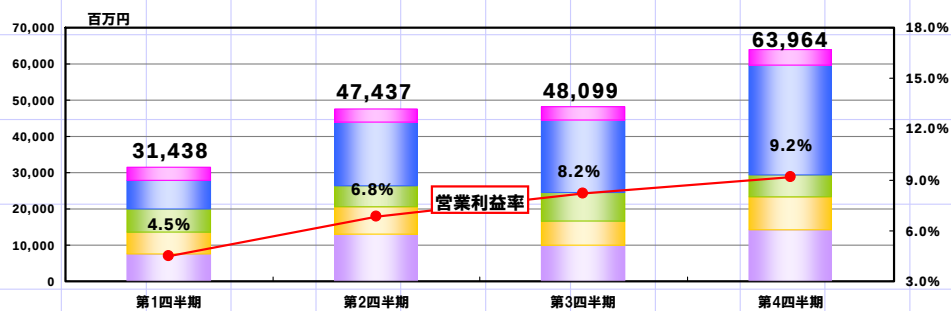
〔売上高〕

前期比プラス7.1%の150億5,500万円。

〔営業利益〕

前期比プラス3億4,400万円の9,100万円。

四半期毎のセグメント別売上高



2013年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
金融市場	7,430(▲38)	12,970(1,682)	9,938(806)	14,341(1,966)	44,679(4,416)
流通・交通市場	6,341(728)	7,576(604)	6,812(854)	8,941(950)	29,670(3,136)
遊技市場	6,214(406)	5,791(120)	7,731(965)	6,109(237)	25,845(1,728)
海外市場	7,873(446)	17,520(702)	19,914(1,207)	30,381(2,730)	75,688(5,085)
その他	3,577(▲131)	3,581(108)	3,704(111)	4,193(3)	15,055(91)
合 計	31,438(1,411)	47,437(3,217)	48,099(3,943)	63,964(5,887)	190,938(14,458)

※右側の () は営業利益

「四半期毎のセグメント別売上高」について

各セグメントで第4四半期の売上高、利益が高まる。

(単位:百万円)

セグメント	2013年3月期					
	売上高			営業利益		
	計画	実績	差異	計画	実績	差異
金融市場	45,000	44,679	▲321 (▲0.7%)	4,200	4,416	+216 (+5.1%)
流通・交通 市場	29,500	29,670	+170 (+0.6%)	3,700	3,136	▲564 (▲15.2%)
遊技市場	25,500	25,845	+345 (+1.4%)	2,000	1,728	▲272 (▲13.6%)
海外市場	70,000	75,688	+5,688 (+8.1%)	4,500	5,085	+585 (+13.0%)
その他	15,000	15,055	+55 (+0.4%)	100	91	▲9 (▲0.1%)
合 計	185,000	190,938	+5,938 (+3.2%)	14,500	14,458	▲42 (▲0.3%)

「セグメント別売上高、営業利益の計画との比較」について

〔セグメント別売上高〕

計画比プラス3.2%。

計画比プラスのセグメント・・・流通・交通市場、遊技市場、海外市場、その他

計画比マイナスのセグメント・・・金融市場

〔営業利益〕

計画比マイナス0.3%。

計画比プラスのセグメント・・・金融市場、海外市場

計画比マイナスのセグメント・・・流通・交通市場、遊技市場、その他

設備投資他

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	前期比	過去5年間の推移												
設備投資額	6,708	8,218	+1,510 (+22.5%)	<table><tr><th>FY</th><th>FY08</th><th>FY09</th><th>FY10</th><th>FY11</th><th>FY12</th></tr><tr><td>設備投資額</td><td>10,637</td><td>6,713</td><td>6,413</td><td>6,708</td><td>8,218</td></tr></table>	FY	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	設備投資額	10,637	6,713	6,413	6,708	8,218
FY	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12											
設備投資額	10,637	6,713	6,413	6,708	8,218											
減価償却費	6,842	8,897	+2,055 (+30.0%)	<table><tr><th>FY</th><th>FY08</th><th>FY09</th><th>FY10</th><th>FY11</th><th>FY12</th></tr><tr><td>減価償却費</td><td>7,821</td><td>8,144</td><td>6,717</td><td>6,842</td><td>8,897</td></tr></table>	FY	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	減価償却費	7,821	8,144	6,717	6,842	8,897
FY	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12											
減価償却費	7,821	8,144	6,717	6,842	8,897											
研究開発投資額	9,934	12,091	+2,157 (+21.7%)	<table><tr><th>FY</th><th>FY08</th><th>FY09</th><th>FY10</th><th>FY11</th><th>FY12</th></tr><tr><td>研究開発投資額</td><td>9,204</td><td>8,775</td><td>8,998</td><td>9,934</td><td>12,091</td></tr></table>	FY	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	研究開発投資額	9,204	8,775	8,998	9,934	12,091
FY	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12											
研究開発投資額	9,204	8,775	8,998	9,934	12,091											

「設備投資等」について

設備投資額・・・前期比プラス22. 5の82億1,800万円

減価償却費・・・前期比プラス30. 0%の88億9,700万円。

研究開発投資額・・・ プラス21.7%の120億9,100万円。

[主な増加要因]

タラリス社の連結会計への組入れによる影響。

損益計算書・包括利益計算書

(単位:百万円)

(百万円)	2012年3月期	百分比 (%)	2013年3月期	百分比 (%)	増 減
売上高	146,937	100.0	190,938	100.0	+44,001
売上原価	92,672	63.1	117,266	61.4	+24,594
販管費	42,990	29.3	59,213	31.0	+16,223
営業利益	11,274	7.7	14,458	7.6	+3,184
営業外収益	1,225	0.8	1,133	0.6	▲92
営業外費用	592	0.4	1,896	1.0	+1,304
経常利益	11,908	8.1	13,695	7.2	+1,787
特別利益	241	0.2	23	0.0	▲218
特別損失	507	0.3	980	0.5	+473
税金等調整前 当期純利益	11,642	7.9	12,738	6.7	+1,096
法人税等合計	4,945	3.4	5,374	2.8	+429
当期純利益	6,246	4.3	6,873	3.6	+627
少数株主損益調整前 当期純利益	6,696	4.6	7,364	3.9	+668
その他包括利益合計	▲318	▲0.2	10,738	5.6	+11,056
包括利益	6,378	4.3	18,102	9.5	+11,724

①営業外費用：支払利息(584百万円)、為替差損(577百万円)などが発生。

②特別損失：固定資産売却損(271百万円)などが発生。

「連結損益計算書」について

〔営業利益〕

前期比プラス28.2%の144億5,800万円。

売上原価率は前期比マイナス1.7%。

販管費率は前期比プラス1.7%。

〔経常利益〕

前期比プラス15.0%の136億9,500万円。

営業外損益に支払利息5億8,400万円や為替差損5億7,700百万円を計上。

〔当期純利益〕

前期比プラス10.0%の68億7,300万円。

特別損失に固定資産売却損や海外事業再編に関する費用など9億8,000万円を計上

。

〔包括利益〕

少数株主損益調整前当期純利益73億6,400万円に、その他の包括利益合計107億3,800万円を加算して、181億200万円。

【海外事業 基本方針】“One GLORY”の早期実現

■ 海外販社との連携による業績目標の達成

- ・重点戦略市場の攻略
- ・リテール事業の拡大

窓口用紙幣入出金機
RBGシリーズ紙幣・硬貨つり銭機
CI-10シリーズ

■ 海外事業統合の確実な実行

- ・GLORY製品の販売拡大
展示会開催、製品研修会実施、営業ツールの
開発・展開
- ・機種統合
- ・現地法人統合



「海外市場」について

〔基本方針〕

One GLORYの早期実現。

〔重点施策〕

- ・海外販売会社との連携による業績目標の達成。
重点戦略市場の攻略、並びにリテール事業の拡大を推進。
- ・海外事業統合の確実な実行
展示会の開催や、製品研修会等を実施。同時に、機種統合や現地法人の統合を推進。

3	2013年度 事業計画	金融市場	2014 GLORY
【国内事業 基本方針】収益性向上と事業領域拡大			
「3レス」を推進することにより、販売拡大を目指す			
現金分野 （オペレーションレス）		 WAVE C30シリーズ	
■ オープン出納システムの提案力強化 ■ ネットワーク化提案の推進			
非現金分野 （金庫室レス）		 重要物管理機 BKシリーズ	
■ 重要物管理機の販売促進策展開 ■ 店舗ビジネスの強化			
DP分野 （ペーパーレス）		 パソコン一体型スキャナー FUシリーズ	
■ ターゲット企業への販売促進策展開			
20			

国内事業について

【基本方針】

収益性向上と事業領域拡大。

「金融市場」について

「オペレーション・レス」「金庫室・レス」「ペーパー・レス」の「3レス」を推進し、販売拡大を目指す。

【現金分野】オペレーション・レス

オープン出納システムに関する提案力の強化と、営業店に設置された現金処理機のネットワーク化提案を推進。

【非現金分野】金庫室・レス

重要物管理機の一層の販売拡大に向けて、販売促進策を展開。

【DP分野】ペーパー・レス

ターゲットユーザーに向けてイメージスキャナーの販売促進策を展開。

【国内事業 基本方針】収益性向上と事業領域拡大

フロント機器市場

- 釣り銭機の導入拡大
- ・ターゲット企業への販売促進策の展開



後方機器市場

- 後方機器の売上拡大
- ・入出金機の導入促進策の展開



「流通・交通市場」について

〔フロント機器市場〕

釣り銭機のターゲット企業への販売促進策を展開。

〔後方機器市場〕

入出金機の導入促進策を展開。

【国内事業 基本方針】収益性向上と事業領域拡大

■ 市場の深掘りによる販売拡大と

新製品による事業領域拡大

- ・大手ホール向け営業戦略の推進
- ・新製品の市場投入
- ・新たな市場の開拓



「遊技市場」について

[基本方針]

市場の深掘りによる販売拡大と新製品による事業領域拡大。

[重点施策]

- ・大手ホール向け営業戦略の推進。
- ・新製品の投入。
- ・新たな市場の開拓。

【国内事業 基本方針】収益性向上と事業領域拡大

- 病院市場への営業強化
- 券売機市場の深掘り
- たばこメーカーへの営業強化
- 新事業の早期事業化

- ・生体認証
- ・会話保護
- ・電子決済



「その他」について

- ・病院市場への営業強化。
- ・券売機市場の深掘り。
- ・たばこメーカーへの営業強化。
- ・新事業の早期事業化。

4 2014年3月期 業績予想	2014年3月期	業績予想	
売上高	海外事業の拡大、並びに国内市場の深掘りが進み、前期に比べ増収を予想。		
利益	海外事業の統合効果をはじめ、コストダウン施策の推進により、前期に比べ増益を予想。		
(百万円)	2013年3月期 (平成25年3月期)	2014年3月期 予想 (平成26年3月期 予想)	前期比
売上高	190,938	200,000	+4.7%
うち 保守売上高	50,766 (26.6%)	54,500 (27.3%)	+7.4%
営業利益	14,458 (7.6%)	16,000 (8.0%)	+10.7%
経常利益	13,695 (7.2%)	15,000 (7.5%)	+9.5%
当期純利益	6,873 (3.6%)	8,500 (4.3%)	+23.7%
※為替レート [ドル]90円 [ユーロ]120円 [ポンド]140円			

「2014年3月期の通期業績」について

2013年3月期よりも増収増益を予想。

〔売上高〕

前期比プラス4.7%の2,000億円。

〔営業利益〕

前期比プラス10.7%の160億円。

〔経常利益〕

前期比プラス9.5%の150億円。

〔当期純利益〕

前期比プラス23.7%の85億円。

セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	2013年3月期 (平成25年3月期)		2014年3月期 予想 (平成26年3月期 予想)			
	売上高	営業利益	売上高	前期比	営業利益	前期比
金融市場	44,679	4,416	46,000	+3.0%	4,800	+8.7%
流通・交通市場	29,670	3,136	31,000	+4.5%	3,300	+5.2%
遊技市場	25,845	1,728	24,000	▲7.1%	1,800	+4.2%
海外市場	75,688	5,085	85,000	+12.3%	6,000	+18.0%
その他	15,055	91	14,000	▲7.0%	100	+9.9%
合 計	190,938	14,458	200,000	+4.7%	16,000	+10.7%

「セグメント別の売上高・営業利益の予想」について

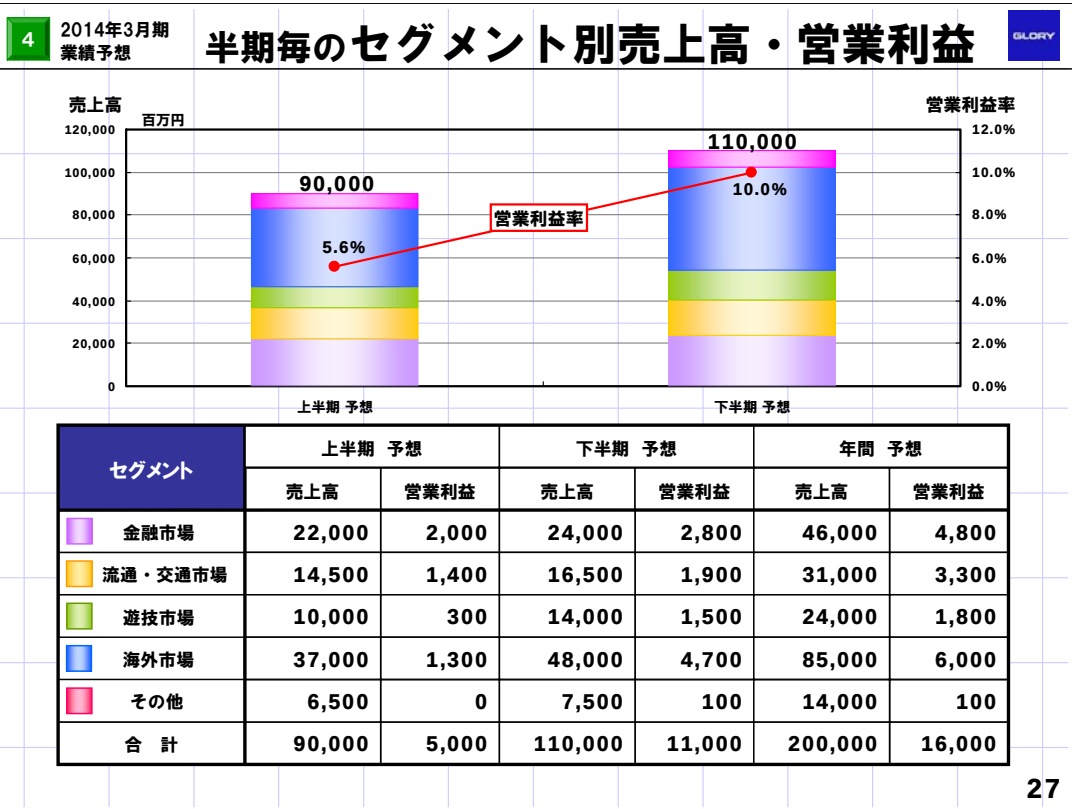
〔セグメント別売上高〕

前期比プラスのセグメント・・・金融市場、流通・交通市場、海外市場

前期比マイナスのセグメント・・・遊技市場、その他

〔営業利益〕

全てのセグメントで前期比プラスを予想。



2014年3月期の配当について**利益配分に関する基本方針**

将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。具体的には
「連結自己資本配当率1.8%を下限とし、連結配当性向25%以上を目標とした利益配分を行う」こととしております。

1株当たりの配当金	中間期末	期末 予想	年間 予想
2014年3月期 (2013年5月10日公表)	22円00銭	22円00銭	44円00銭 (配当性向34.0%)

(ご参考)

2013年3月期	21円00銭	23円00銭	44円00銭 (配当性向42.0%)
----------	--------	--------	-----------------------

「配当予想」について**[2014年3月期 配当予想]**

- ・中間期末22円(予定)
- ・期 末 22円(予定)
- ・年 間 44円(予定)

[配当基本方針]

将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続。

[配当総額目標]

連結自己資本配当率1.8%を下限として、連結配当性向25%以上。